

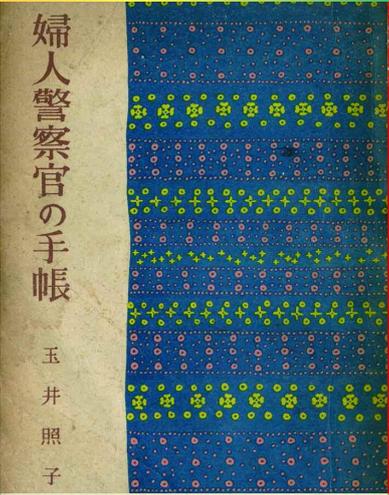
戦前・戦中・戦後の ジェンダーとセクシユアリティ

全25巻

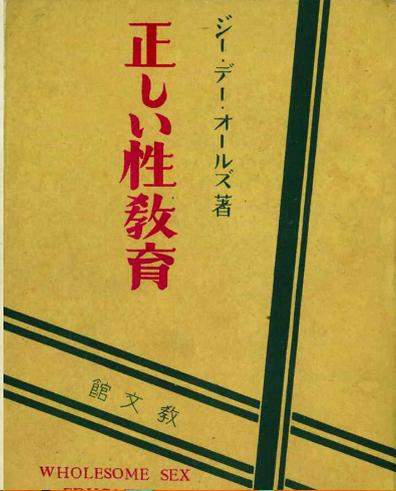
◆監修・解説◆岩見照代 前・麗澤大学教授



大 陸
開拓
土の花嫁



婦人警察官の手帳
玉井照子



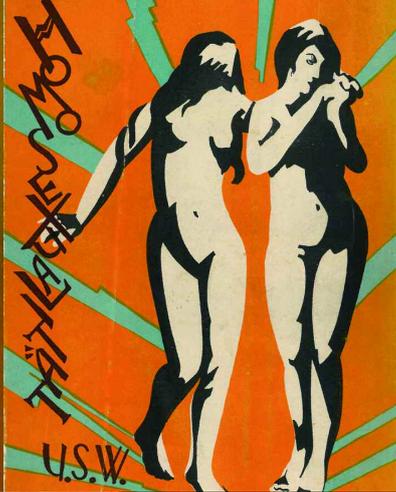
正しい性教育
ジーデー・オールズ 著

教文館

WHOLESOME SEX

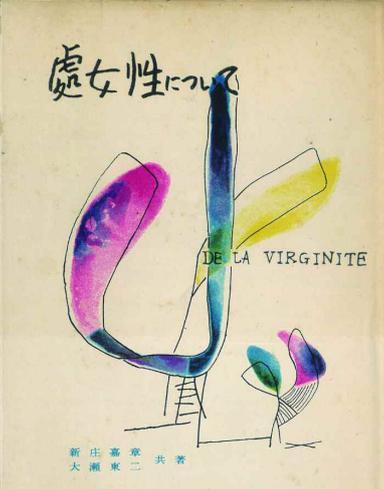


私には堪えられず
後藤フミ 他



荷馬車の手記
の娘
★
著ちい内杉

中央公論社



処女性について

DE LA VIRGINITE

新庄嘉章 共著
大瀬東二



愛情のモラル

新しい性科学のために

若月俊一

ジェンダーとは、セクシヤリティとは、現代的な観点から、
戦前・戦中・戦後の「性」意識をめぐる著作を集成する――

刊行のことば

私たちは、どのようにして、自明とされてきた〈男／女〉という〈性〉の二元論を越えて、女や男のイメージを内面化し、身体化することができるのか。「LGBTQ+」といったセクシュアリティの多様性の中で、今、性自認の再構築が求められている。婚姻関係の男女とその子供からなる近代家族を基盤とした社会制度において、男は〈外〉・女は〈内〉という性役割を強いられてきた。人々は社会から排除されないために、結婚における誓い、処女／童貞、性行為など、社会が求める性的規範を、無意識のうちに内面化し、身体化してきたのである。

本企画は、一九三〇年代から一九五〇年代末まで、あえて三〇年という短い時間軸を設定することで、「性教育・性科学・性倫理・処女性・女らしさ・美容・衣服・売買春」といった、これまで〈自明〉であったさまざまな性規範が、どのように変化していったのかを見えやすくしたものである。そのために、原資料には、記録文学や人事調停といった当時者の語りや、〈声なき経験〉も収録した。刻々と変容を続けるセクシュアリティの様相をとらえようとする本企画は、現代の性の急激な変貌を考えていくための一助となるはずである。

『戦前・戦中・戦後のジェンダーとセクシュアリティ』全25巻の収録内容

第1回記本 変容する〈性〉

全5巻

性教育、性言説を中心とした著作を、〈性〉の意識が時代によってどのように変化したのかに注目し集成。

第1巻 変容する〈性〉 I

付・解説

ジー・デー・オールズ「著」／湯浅与三「訳」

正しい性教育

(教文館一九四〇年)

第一部 性教育の必要とその訓練／第二部 児童の性教育／第三部 青春時代(満十五歳・六歳―二十五歳)／第四部 結婚／第五部 性と社会

第2巻 変容する〈性〉 II

付・解説

岡田道一「著」

女性の生理と衛生

(鶴書房一九四二年)

女性産業戦士よ祈を待て／〈職場篇〉産業女性と医事衛生の知識／婦人としての常識的な衛生知識／工場に於ける産業女性の疾病原因

と予防／職業とその疾病 ほか／《処女篇》／処女時代の健康／処女の分泌物／子宮内膜炎／故に日本の女性には結核に犯され易いかほか／《月経篇》月経の生理と手当／無月経の話／月経異常とホルモン療法／月経と犯罪／《結婚篇》新しき結婚の条件／母性といふこと／結婚と結核及び性格異常／結核と結婚／優良児を得るための夫婦生活／妻の守るべき性道徳／不妊症の原因と療法 ほか／《妊娠篇》早期の妊娠診断法／子宮外妊娠と自家輸血／結核女性の妊娠／食物と胎児への影響／妊娠中及び産後の性交／月経と授乳ほか

大田典礼「著」

性の科学と倫理

(文理書院一九四七年)

第一章 性教育論 (一)性の社会性／(二)性教育の概念／(三)性教育の基本的な方法／(四)社会的な性的啓蒙運動／第二章 処女性と貞操 処女性を失つて悩める女性に／処女性の医学的抹殺／貞操の分析／未亡人の問題 第三章 青春の生理と倫理 愛情の生理と倫理／青春の生理と心理／未婚者の性生活／学生と性欲／女性の悩み／性と文学／性とホルモン／接吻の医学／不感症の医学

第3巻 変容する〈性〉 III

付・解説

若月俊一「著」

愛情のモラル ― 新しい性科学のために

(白馬書房一九四九年)

第一章 何から始めるか／第二章 統計的観察の意義／第三章 私たちはどういう方法で調査を行ったか／第四章 調査はどういう人たちになされたか／第五章 調査の結果／第六章 性の生物学的意義／第七章 性と遺伝／第八章 性別の決定／第九章 男性と女性／第十章 性の生理

串田孫一・原 文字「著」

美しき生の歩み

(泰光堂一九五二年)

序文のための手紙1／序文のための手紙2／純粹な愛を感じたい願い／瞬時にふれ合った魂の感激／何処かにある愛／遅い力／偏見を持たない眼／花への愛情／ただの遊び／ひまつぶし／人間らしさ／人間愛と肉体の限界／行動する力／合理と非合理の世界／女性と職業／女の学問 赤裸な心／理窟のない世界／童話を書く心／おしやれの心理／ダンテイスムと心気転換／期待する心／期待の虚像と実像／集団的な墮落／個人の責任 ほか

●第4巻 ● 変容する〈性〉 IV

付・解説

大塚二郎ほか「著」

性教育はどのように行うか

(講字館 一九五三年)

第一篇 性教育はなぜ行わねばならないか I 性とはなにか／性教育の意義と目的／II 誤った性觀念の性慣習／III 青年期のあやまちをなせおこるか／生感と危機／第一篇 實際指導はどのように行うか I いつ、誰れが、どこで教えるか／性教育の輪かく／II 学校における性教育／III 家庭ではどのように教えるか／IV 社会ではどのように導くか／V 用語の問題はどうしたらよいか／第三篇 性の知識 I 性の科学／II 性の心理

朝海楚舟「著」

性の哲学

(彩光社 一九五四年)

一 フロロウグ／二 研究的態度に就て／三 用語の問題／四 性愛の形而上学的序説／五 性と哲学／六 性の哲学に於ける精神分析学説／七 キンゼイ白書の意味するもの／八 肉体火山脈／九 表象としての自然／一〇 美の感覺／一一 膺伏の理論／一二 あそびと人生／一三 お化粧の意義／一四 流行の行方／一五 錯覚と幻想／一六 論理に於ける諸問題／(一) 親と子／(二) 兄弟姉妹／(三) 愛情に就て／(四) 好色論／(五) 猥褻論／(六) 再婚譚／(七) 重婚記／(八) 性の信仰／一七 同衾類としての人間／一八 生体解剖／一九 好奇心に就て／二〇 常識という事／二一 風俗と習慣／二二 狂気の効用／二三 私生活小論／二四 続猥褻論／ほか

●第5巻 ● 変容する〈性〉 V

付・解説

村上信彦「著」

ゆがめられた性

— 女らしさはだれがつくったか

(大日本雄弁会講談社 一九五四年)

女らしさの分析 一、女らしさの神話／二、教養と女らしさ／三、恋愛について／四、友情について／五、誇張された性別／女らしさの歴史 一、初期／二、ギリシャ／三、ローマ／四、中世／五、ルネッサンス／六、近代／展望— これからの女／女のみかたの革命／偽善的なエチケット／女は変貌する ほか

新庄嘉章・大瀬東一「著」

処女性について

(北辰堂 一九五五年)

第一章 文化が強要する女性の姿について／第二章 ペニス羨望につ

いて／第三章 エレクトラ・コンプレックスについて／第四章 性の自覚とその反抗について／第五章 不安から生れる愛情について／第六章 文化条件と同性愛について／第七章 処女性の放棄とその女性の本質的条件について／第八章 罪悪觀念と性的不安について／第九章 性意識の原体について／第十章 社会秩序と自分の秩序について

●第2回配本

翻弄される〈性差〉

全5巻

第2回「翻弄される〈性差〉」では、時代の趨勢に左右される、社会的な〈性差〉に焦点をあて、著作を集成。

●第6巻 ● 翻弄される〈性差〉 I

付・解説

吉田喜久代「著」

砂丘の陰に

(長崎書店 一九四〇年)

【昭和十一年】村の託児所(十二月二十日)／村の訪問(十二月四日)／純情の母(十二月九日)／身の上話(十二月十日)／救護收容(十二月十九日)【昭和十二年】遊佐先生をたづねて労働教へ(三月七日)／山田わか先生の宅に於いて婦人問題を聞く(三月十四日)使命のまゝに(七月二十四日)【昭和十三年】倉坂産業組合へ行く日(一月四日)／雪の夜の助産(一月十日)／砂丘の足跡(三月五日)／保健婦見習生を次々に(四月二日)／保健婦見習生と共に(四月十五日)／山本訪問婦の赴任の日(四月十五日)／母をよぶ声(四月十六日)／ほか

牧 哲男「著」

愛の魂

北海道巡回看護婦の手記

(大東亜社 一九四二年)

ふるさとを守る乙女ら／私の農繁期／慰めることは／無医部落／育児指導／荒れるオホーツク海／熊の出る山道／妊産婦保護／小川の洗眼／招集／馬ソリの鈴の音／吹雪を衝いて／仔馬の怪我／おもひで／雪だけ／海辺のたより／附録 巡回看護婦事業について

●第7巻 ● 翻弄される〈性差〉 II

付・解説

杉内いち「著」

荷馬車輓の娘の手記

(中央公論社 一九三四年)

荷馬車輓の娘の手記／阿弥陀如来を追い出した女／推薦のことは(堺利彦)

杉内いち雑誌掲載作品

労働省婦人少年局「編」

働く婦人の保護

(産業労働福利協会 一九四九年)

一、まえがき／わが国に於ける女子労働者の保護／二、女子労働者に關連する規定の解説／三、あとがき／労働基準法施行後の諸問題—【附録】一、労働基準法関係法規一覽／二、労働基準法／三、労働基準法施行規則／四、女子少年労働者保護規則／五、事業附属寄舎規程／六、各国婦人労働者保護規定一覽表／ほか

労働省婦人少年局「編」

男女同一労働同一賃金について

(労働省婦人少年局 一九五一年)

一、日本における婦人雇用の発展(美濃口時次郎)／二、婦人の労働能力と低賃金(藤田忠)／三、社会的環境と婦人の労働能力(藤本武)／四、婦人は労働能力に対応して支払われていない(氏原正次郎)／五、婦人の低賃金の実情と賃金形態(宮島久義)／六、男女同一労働同一賃金の具体的内容(氏原正次郎)／七、合理的職務賃率決定のための「職務評價」(藤田忠)／八、現在どのようにしてこの原則を適用すればよいか(宮島久義)／九、最低賃金制と同一労働同一賃金(藤本武)／一〇、結論「男女同一労働同一賃金を実現するにはどうすればよいか」

労働省婦人少年局「編」

婦人は何を考えているか

(労働省婦人少年局 一九五二年)

「I 調査の方法」1 調査地域と対象／2 調査対象の選定／3 調査方法及び回収状況 「II 婦人の生活実態」 「III 調査の結果」1 婦人の地位について／2 婦人の政治的関心について／3 婦人の衆生活／4 恋愛および結婚について／5 職場における婦人の環境

●第8巻 ● 翻弄される〈性差〉 III

付・解説

日本衣服研究所(田中千代)「編」

日本衣服研究所彙報

(日本衣服研究所 一九四一年)

日本衣服研究所「著」

衣服の研究と調査

(目黒書店 一九四三年)

【第一部】一、序文／二、靴下の性能研究／三、衣料切符制下縫糸の使用量に就いて(日本衣服研究所長 田中千代)／四、洗濯に要する

時間及び石鹸の調査(同 田中干代) / 【第二部】一、衣服諸調査序説(日本衣服研究会常務理事・日本衣服研究所研究顧問・神戸商業大学教授 田中薫) / 二、街頭服装調査(日本衣服研究所員有志) / 三、婦人衣服所蔵調査(日本衣服研究所員 森善子) / 四、衣料切符制下に於ける工夫(日本衣服研究所員 森善子) / 日本衣服研究所 / 五、衣料切符制実施上の疑点に就いて(日本衣服研究所) / 六、婦人標準服がきまるまで(日本衣服研究所員 頼藤登美江) / 給(日本衣服研究所員 山本晴子) / 【第二部】一、日本衣服学の構想(田中薫) / 二、南方圏の民族と衣服(日本衣服研究所員 中山三恵子)

エリック・ギル [著] 増野正衛 [訳]

衣裳論

「スボンとスカート 男女のまとう自然的人為的外皮の性格及び意義についての試論」 (創元社 一九五二年)

この本を読む人のために(花森安治) / I 予備的考察及び主張 / II 住居としての衣服について / III 仕事場としての衣服について / IV 教会や公会堂としての衣服について / V 特殊部分のための衣服について / VI 仕立屋の威儀と作法と専横とについて / VII 自然と裸体とについて / VIII スボンについての結論

第9巻 ● 翻弄される(性差) IV

付・解説

新女性全書 生活篇

(鎌倉文庫 一九四八年)

【第一篇 結婚】恋愛論(亀井勝一郎) / 新民法から見た家(中川善之助) / 結婚の意義(久米正雄) ほか 【第二篇 性科学】処女性について(式場隆三郎) / 性病の知識(松本寛) / 産児制限について(野津貞夫) ほか 【第三篇 生活の設計】生活の設計について(氏家寿子) / 生活技術について(帯刀貞代) / 子供の教育(波多野完治) ほか 【第四篇 女性と職業】女性と職業(榊山政道) / 職業婦人の生活実態報告(片桐鏡子) ほか 【第五篇 家庭医学】家庭医学概説(生女子部編 中里龍瑛) / 家庭看護(中尾喜久) / 薬の知識(薬学士 岩永英一) / 食餌療法(新井養老)

田辺繁子 [著]

新しい愛の生活

日本女性の地位について (印刷庁 一九五一年)

新しい愛の生活 / 一 新しい民法の要点 / 二 家庭裁判所とは / 三 夫を重荷に思う妻たち / 四 夫の貞操と妻の権利 / 五 たのしい夫婦 / 愛情はすなおに表現しましょう / 六 お堀のおしどりをみる / なるべくいっしょに / 七 男 / 八 ある離婚 / 九 隷属の否定 / 一〇 理論と実際 / 一一 結婚風習と夜あそび / 東京都拜島村をたずねて / 一二 印度の女性 / マヌ法典から / 一三 売春に走った人

たち / 一四 積み上げられた米 / 一五 柿 / 一六 たのしい夏休み / 先生とお母様 / 一七 日立の旅から / 一八 わいと妻の地位 / 一九 農家の妻 / 二〇 婦人と人権 / 二一 世界人権宣言と日本国憲法

第10巻 ● 翻弄される(性差) V

付・解説

山室民子 [著]

新時代と女性

(金子書房 一九五二年)

【一 戦後の欧州を見て】I オーストリアへの旅 / II 旅で出会った人々 / 二 女性における言葉 / I 講和の春に際して / II 女性の友へ(女学生の皆様へ) / 職業をもつ女性へ / 家庭の婦人へ / 看護婦の友へ / III 若い女性への期待 / IV 若い女性の幸福 / 清純な生活 / V 新しい愛情のモラル / 純潔教育の問題 / VI 両親教育の課題 / VII 親の責任 / III の実例 / VIII 家庭と宗教教育 / IX 婦人と読書 / III 婦人問題 / I 婦人と選挙 / II 婦人教育(国や公共団体の計画事業 / 婦人団体とその問題)

吉尾なつ子 [編]

こんな女がいる

(朋文堂 一九五五年)

第一話 結婚を控えて肉体の秘密に悩む私(吉村とし子) / 第二話 結婚生活六年始めて知る性に悩む私(田岡きく子) / 第三話 家出の報いもう疲れてしまった私(山田道子) / 第四話 ミスに選ばれた代償に貞操を失った私(井草つま枝) / 第五話 良縁と知りつつお断りの手紙を書く私(落合久子) / 第六話 若い一夜の過失ゆえに悩む私(山口久子) / 第七話 連兵に侵された悪夢を呪う私(橋田きくよ) ほか / 女の運命について(吉尾なつ子) / 弱き者の幸福と幸福について / 二、女は夢想家であるということについて / 三、処女は奪われるのか提供するのか / 四、女の運命ということについて

イヴの創造

美しき性のために

(社会思想研究会出版部 一九五六年)

【一 束縛された性(平井潔)】1 因襲的な性観念 / 2 せまい交際 / 3 とらえがたい性 / 4 妻の座のつめさ / 5 あたらしい愛の創造 / II 閉ざされた性(菊池綾子) / 1 夜の性の歴史 / 2 昼の性への歩み / III 待たされた性(吉田忠雄) / 1 パンと恋と夢 / 2 神の秩序 / 3 適齢男性はどこにでもいる / 4 愛に光あれ / IV 商業化された性(神崎清) / 1 赤線地帯 / 2 その名は売春婦 / 3 青春喪失 / 4 売春は「必要悪」か / V 解放される性(江上照彦) / 1 ジー / 1 キル博士とハイド氏 / 2 女は地獄の門 / 3 隷従への道 / 4 日本の性的伝統の特色 / 5 一夫一婦制度と売春 / 6 ソヴェットの売春克服 / 7 売春禁止立法の問題点 / 8 映画「旅情」の教えるもの / 9 現代若夫婦の生息 / 10 あたらしいモラル

第3回配本 男と女

全5巻

第3回「男と女」では、戦前・戦中・戦後という時代に左右された、恋愛観、結婚観に焦点をあて、著作を集成。

第11巻 ● 男と女 I

付・解説

成瀬無極 [著]

人生案内

(甲文堂 一九三六年)

【総説】現代生活とその悩み / 今日青年 / 女性と女性問題 / 母性とその危機(家庭篇) / 父と子 / 母と子 / 恋愛篇 / 恋のもつれ / かなはめ恋 / 不倫の恋と同性愛 / 結婚篇 / 結婚是非 / 処女性と貞操の問題 / 夫婦生活の破綻 / 破倫と三角関係 / 生活篇 / 職業問題 / 闇の女(人生篇) / 人生問題

今野賢三 [著]

青年と恋愛

(大東出版社 一九三七年)

緒言 / 第一章 悩める青年期と男女の問題 / 第二章 青年と真実、理想、真理 / 第三章 現実を如何に生かすべきか / 第四章 初恋時代を如何に見るべきか / 第五章 母性に目ざめる娘の頃 / 第六章 新恋愛観と結婚の道 / 第七章 日本的な恋愛の歴史

第12巻 ● 男と女 II

付・解説

秋田光二 [著]

働く女性の結婚

翼賛女性読本

(新興社 一九四一年)

【前篇 時代の先駆者】夜の町 / 新しき教場 / 菜の花咲く家 / 闇から飛び出した男 / 一万円 / 犠牲者 / 桃咲く丘 / 生命の足 / 春風と共に / 【中篇 働く人々】光に立つ / 結婚について / 女事務員 / 渡された紙片 / 凱歌 / 女車掌 / 悲願 / 女教員 / 犠牲 / 看護婦 / ボス / ヘチナー / タイピスト / 身をもつて / 女子工務員 / 似顔絵 / 花と工場 / 【後篇 輝く部落】相談 / 開墾 / 三業組合 / 白い手の開拓者 / 都の空から / 野火 / 再び都の空から / 故郷へ / 求婚者 / 輝く部落 / 六組の結婚

生田花世 [著]

明かるい人事調停

(鶴書房 一九四二年)

【明かるい人事調停】序にかへて(鈴木国久) / 生田女史の「明かるい人事調停」をみて(竹内茂代) / 日本の明暗 / 人事調停の始り(女性の悩を救ふ人事調停法問答) / 人事調停の必要な人々 / 人事調停の手続 / 調停を待つ間の心 / 人事調停室 / 判事と男子調停委員 / 婦人

調停委員／母は強し／人事調停委員となりて(一)、調停委員となつた時の所感(二) 経験により知つた事)／調停の範(人事調停の話)／調停の輪廓(若者のために／養女の籍)／調停委員の内省と苦心(まごころの裁き／妻のまごころ／姑と嫁／菊の御紋の下にて／東慶寺「女の生活から」結婚前の新体制／妻の悩／妻の悩に答ふ／試練される妻たち／中年婦人の生き方／その不幸と更生と)／大きい処に眼をつけて／ものも言ひやう口もききやう／斡旋／二人の娘(人事調停に関する法規と統計)人事調停法の話／はしがき／調停とは何か／調停委員会とは／どんな事件を扱ふか／どこに申し立てるか／どうして申し立てるか／費用はどの位かかるか／調停開始後の手続／秘密は漏れない／人事調停取扱場所の手引／婦人調停委員所屬一覽／地方の人事調停／制定運動のこと(越／金子しげり)

●第13巻 ● 男と女 III

付・解説

田中孝子「著」

桃 天 隨筆

(興亜書院 一九四三年)

はしがき 【結婚篇】夫婦／家と結婚／戦時下の結婚／嫁ぐ前の準備／結婚様式の改善／古代の夫婦の歌／職業婦人の結婚／寡婦の問題 【生活の諸相篇】時代と文化生活／女子教育について／人事調停／青年男女の集りにて／「相談事務」を担当して／応待／身の上相談に現れた婦人の職業／戦時下の未亡人に／婦人より見たる児童虐待防止問題／親切週間／時事寸言 【随感篇】義理／浄瑠璃の女／短刀／梨の花／太陽／出雲行／妓王寺／古い話の中より(一、えびあん／二、ぼろ婿／三、つる草)／凧とコノミさん／たばこ歌舞伎音がたり 【身辺篇】父母／子供の頃／亡き友／鈴木さん／坪島さん／アッシルモアの夜／我が結婚生活／知己の写真に／返子／潮音／小さき娘へ／家に於ける王堂／学徒の妻／郷里の墓／この十年間 【人事問答篇】結婚に関して／夫婦生活に関して／親子、その他の問題に関して

片岡鉄兵「著」

新恋愛論 女性論集

(学進書房 一九四七年)

新女性論／新恋愛論／恋愛とテリカシイ／詩人は雷よと歌へど／彼女は自然である／青春の貞操／女性不安と同性愛／灰色の女／行衛知らぬ女／荒き胸を持つ女／私の描きたい女性／わが恋せしこ女／十八九の春夏／故郷の若き女性へ／青春読本

●第14巻 ● 男と女 IV

付・解説

式場隆三郎「著」

結婚の饗宴

(コバルト社 一九四六年)

第一章 女の一生／第二章 女性の血液／第三章 結婚の目的は何か／第四章 結婚と優生／第五章 遺伝と血液型／第六章 結婚診断／第七

章 結婚と磨／第八章 女の職業と病氣／第九章 女性と笑ひの科学／第十章 音楽と神経／第十一章 戦後女性の教養／第十二章 女の秘密／第十三章 情死と殺人／第十四章 女子過剰の説

原奎一郎ほか「著」

恋愛の生態〈抄〉

(玄理社 一九四八年)

二人の恋愛と知性(永戸俊雄)／恋愛心理の分析(大槻憲二)／文学に現れた恋愛(古谷綱武)／恋愛の悩み(村岡花子)

●第15巻 ● 男と女 V

付・解説

辰野 隆「著」

男女問答

(要書房 一九五〇年)

奮女大学／子供の躰について／妻の存在について／舅・姑・小姑について／長男について／女親について／良人の愛人と妻の立場について／ハイヒール、化粧について／男女交際について／求愛について／子への心遣いについて／小言その他について／嫉妬について／夫婦喧嘩について／再び嫉妬について／道楽について／良人の認定について／夫婦仲について／夫婦間の不信について／恋文の処理などについて／集団見合などについて／性教育について／再び姑について／主婦と女中について／両親について／夫婦の危機について／夫婦の心の交流について／婦の獣性、神聖性について／再び夫婦喧嘩について／独身について／夫の恋愛、妻の恋愛について／離婚について／職業婦人について／アプレゲール性について／妻よ良人とは歩め／むすむ

小此木治「著」

恋愛心理学

(愛隆堂 一九五一年)

開かれる楽園 生理と心理／愛の印象 初恋の心理／青春の明暗 禁断の心理／セックスの牙 幼児の性心理／春の目覚め 少女の性心理／羞恥と潔癖 処女の性心理／童貞の哀愁 青年の性心理／空想と冒険 男の恋愛心理／貞操の価値 女の恋愛心理／男装の麗人 同性愛の心理／光と影 変態性の心理／愛の究極 征服の心理／女心の謎 魅惑の心理／死の誘惑 情死の心理／本能の蠢き 夢幻の心理／恋を得る法 心理学の応用／恋愛名言集一金言と警句

●第4回配本 女性の躍動

全5巻

時代に左右され、その活動を抑えられていた、女性たちの文化的な躍動についての著作を集成。

●第16巻 ● 女性の躍動 I

付・解説

中上川蝶子「著」

楽土南洋

(南光社 一九三五年)

序 辻村太郎／序に代へて 武蔵千世子／自序 船中にて／神戸港からスラバヤへ／ジャヴァ／スラバヤ上陸第一歩／スラバヤの街(一)／スラバヤの街(二)／理想境バリ島／原始的なバリ踊／バリ島から再びスラバヤへ／ジャヴァ洋上の初日の出／美しいスラバヤの並木道／ニムロドの製皮工場／聖郷トサリ(一)／聖郷トサリ(二)／避暑地ノゴチャヤ／ノゴチャヤからスラバヤへ／はからざりき己の墓参／サッテーに味はふジャヴァ気分／スラバヤの近郊巡り／ギリセに見る燕の巣／スラバヤの映画館／スラバヤを発つてスマランへ／更紗のペカロンガン／支那人の南洋進出／ポロドールの大仏跡／水城タマンサリーの廃墟／ジャヴァ正月王出御の儀式／火山に囲まれたガロー市／ブゲンチー湖畔に聴くアノコロン／世界一のポイテンソルフ植物園／ジャガタラ薯の旧跡／バタヴィア／バタヴィアの博物館見物／ジャヴァよ左様なら／ほか

瀬川敏子「著」

戦ふ世界の女性

(婦人文化叢書 時代社 一九四三年)

序 【ドイツ篇】生産面の婦人(一) 前大戦後の国情(二) 再び家庭から職場へ(ほか) 戦ふドイツの国民生活(一) 闇取引のない国(二) ドイツの食糧事情(ほか) 婦人団体の活動(一) ヒットラーユージュート(二) ショルトクリンク女史のこと(ほか) 若い世代の生活(一) ドイツ婦人の性格(二) 化粧をしない女(ほか) 働く婦人の保護(一) 徴用後の成績(二) ドイツの母を守れ(ほか) 【イタリア篇】イタリアの婦人組織(一) 文化史上の婦人(二) 政治面のイタリア婦人(ほか) イタリア婦人の職域(一) 図書館長も婦人(二) 強化された婦人の徴用(ほか) 社会政策と戦時生活(一) 多産婦人は表彰(二) 幸福な子供たち(ほか) 【アメリカ篇】変貌する国民生活(一) アメリカの戦時経済(二) 深刻化した食糧問題(ほか) 婦人の動員(一) 強制労働実施か(二) 兵力の増強(ほか) アメリカ女性氣質(一) 強い女性の権利(二) 経済的独立は嫁入の資格(ほか) 戦後の婦人活動(一) 兵隊慰安にダンス(二) 主なる婦人団体(ほか) 【イギリス篇】人的資源の不足に悩む(一) 出生率の低下(二) 学園の戦時態勢(ほか) 婦人の活動状況(一) 女の兵隊(二) 脂粉の香高い兵隊(ほか) イギリス国民は喘ぐ(一) 収入の九割まで税金(二) 心細い食糧事情(ほか) 濠洲の婦人生活(一) 太平洋の孤児(二) 今後の動員は婦人のみ(三) フランス篇(一) 再建途上のフランス(二) 一更生第一歩(ほか) 戦後のフランス婦人(一) 職場から家庭へ(二) 新しい婦人団体(ほか) 【ソ連篇】前線の婦人活動(一) 独ソ戦の経過(二) 政治に参画する婦人(ほか) ソ連の生産と婦人(一) 国是の許さぬ遊休女性(二) 労働者の八割は婦人(三) 食糧増産戦の婦人(ほか) ソ連の社会と婦人生活(一) 高くなった離婚料(ほか)

●第17巻 ● 女性の躍動 II

付・解説

大陸開拓・土の花嫁

(中央情報社 一九三九年)

拓務大臣陸軍大将小磯国昭閣下 題字 / 拓務省拓務局長安井誠一郎 閣下 序文 / 『この本を読まれる前に』 / 大陸開拓と日本人 / 女性の使命は大きい / 農村の時代が来た / 昔の分村、分家の話 / 昔の北海道開拓 / 女性と日本精神 / 屯墾病と女性の力 / 男女青年に清新の気風 / 女性の持つ強さ / 若い女性と夢 / 満洲とはどんなところか / 満洲開拓地の広さ / 匪賊馬賊は昔の夢 / 恵まれた満洲の気候 / 開拓民が住む家屋 / 開拓地の婦人の服装 / 満洲で出来る作物と家畜 / 開拓地の婦人たち / 開拓地は総てが平等だ / 羨ましい家庭円満 / 物凄く赤ん坊の氾濫 / 目が廻るお産婆さん / 二百万人の赤ん坊 / 学校は寄宿舎制度 / 開拓地の娯楽機関 / 明朗な花嫁たち / 弥栄村敬老会のこと / 大陸へ嫁いだ花嫁たち / 婦人の親た満洲開拓地座談会 (拓殖奨励館) / 海を越えて (編輯部) / ほか

松田解子 [著]

女の話題

(モナス 一九四〇年)

女の話題 / 社会時評 / 戦時下の風俗 / 断髪考 / 簡便な托児所経営の一例 / 工場食余談 / 婦人と保険 / 村の婦人運動 / 保健婦の草分 / 無医村・成瀬村の場合 / 女性春秋 / 内面からの改善 / 運動の個性と方向 / 働く意味と生きる意味 / 職業の誇り (一、二の実例から) / 戦時下の婦人、少年労働について / 幼き者の環境に触れて / 文学随感 / 真夏の感想 (ランボオ的なもの) / 生産人と生産文学 / 文学に於ける婦人の世界的進出 / 文学の浸透力について / 砲煙のなかの婦人作家 / 学園への思索 / 卒業と就職 / 校外教育と児童文化施設 / ほか

●第18巻 ● 女性の躍動 III

付・解説

新美容科学読本

(健康と美容の会 一九四〇年)

序文 / 自序 / 序論 / 美はすべての女性と偕に在る / 第一篇 全体論 / 女性美一代記 / 心理的美容法 / 美の交響楽 / 明眸よ永遠なれ / 容姿美の根本問題 / 花咲く肉体 / 第二篇 方法論 / 若き母に与ふ始めてお化粧する人の為に / 正しい社交化粧法 / 化粧法余録 / 唇化粧の原則 / 一晩中萌れぬお化粧 / 少女の身嗜みに就て / 女性の完成美に就て / 十歳若く見える法 / スマートな容姿のための十則 / 皮膚の理想化 / 雀斑 (そばかす) / 治療の新学説 / にきびよ。さらば / 小皺をなほす新研究 / パクツ美顔法 / 軽石美顔術 / 整容美容体操 / 美容とスポーツ / ほか

神田耀滋 [著]

働く女性の栄光

(青葉書房 一九四三年)

今日の女性の立場 / 菊江の場合 / 父の哀願 / 人の子の岐路 / どの道を選ぶべきか / 家庭が主か、職場が主か / 大切な忘れ物 / 私達の考へやうとすること / 時局が望む婦人 / 参つて道 / 世界一の働く女性 / 和具の海女 / 夫を自滅させた女 / 立つている女、坐っている女 / 女旋盤工の加代さん / 働く女性の栄光 / 女性の地位は向上しているか / この事実 / 埋もれている自尊心 / 自尊心を我が物とするには / 家庭の女王 / 甲乙のない世界 / 或る女教員の述懐 / 斯る時我は悩む / 炭砒での話 / 聖業へ繋がる路 / 職場の明るい花 / 僅かなことながら / 心の花 / 仕事を淋しがらせるな / 籠の鳥 / 「もう」と「まだ」 / 「が」の使ひ分け / 悪い「が」 / 花は花自身で開く / 働きなからの教養 / これからの教養 / 広い教養の畑 / 芭蕉にかこつけて / 演習と実戦 / 文盲の老婆ながら / 素顔の美しさ / 心の素顔 / 自分の時間を支配せよ / ドイツ婦人の教養 / 愛を命として / ほか

●第19巻 ● 女性の躍動 IV

付・解説

金覧会 [著]

婦人警察官の手記

(中央社 一九四七年)

手記にそへて / 私の動機 / 出勤第一日 / 地下道の母と子 / 下剤入りサッカリン / 臨検ABC / 「闇の女」への疑問 / 恋・家出・有楽町 / 私は社会の靴みがき / 消えた学生 / 不思議な老人 / 悪酒の悲劇 / 「東京裁判」法廷で / 女でない「男装の女賊」 / 生活相談の窓口 / 未復員の夫を裏切った妻 / 捨てられた旦那さん / 潜水夫になつた孤児 / 軽はずみな娘 / 私たちの結婚問題 / 私たちの生活断片

玉井照子 [著]

婦人警察官の手帳

(朋友社 一九四七年)

姫鏡台 / 参年間の馬鹿 / ラジオ先生 / 別離 / 母の像 / 卵 / 練習所断片 / 制服 / 門出 / 十字路に立つ / 学校巡回 / 照子よ / 女検事 / 安全週間 / 再び練習所へ / 和製ジャンヌ・ダーク / 日本の音楽 / 復興祭 / 或る日曜日 / 箱根めぐり / 私たちの結婚 / 本官 / こけす / 世相の窓口 / 人事相談 / 盲目の娘 / 浮浪児と語る / 闇の女 / 闇の星 / 真、善、美 / あとがき

●第20巻 ● 女性の躍動 V

付・解説

松田ふみ子 [著]

婦人記者の眼

(家庭文庫) 東洋経済新報社 一九五四年

序にかえて / 主婦のあり方 / 女性党を作ろう / 顔談議 / 女の生き

方 / 妻の職場 / 主婦の座 / 女の偏見 / 売春婦をなくしたい / 男のへそくり / 夫は妻の鏡であるということ / 女性の進出をはばむもの / 女の幸福 / フォーション・シヨウ / 調和ということ / 女の知性

職場の表情

働く人たちの生活と意見 (虎書房 一九五七年)

職業調査グループ [編]

「芸能」 (テレビ・プロデューサー / ミキサー / 効果マン / 声優 / 新劇女優 / 劇団経営部員 / 舞台装置デザイナー / 舞台照明係 / ほか) / 「公務員美術館員」 (税務署吏員 / 郵便局員 / 調達庁職員 / 市役所女子吏員 / ほか) / 「工場」 (運動員製造女工 / スプリングコイル製造工 / 染物女工 / 伸鉄工場工員 / ほか) / 「医療 教育 宗教」 (官立病院医師 / 歯科医 / 鉱山病院医師 / 看護婦 / 保健婦 / 私立女子高校教員 / 小学校女教員 / ほか) / 「接客」 (スチュワーデス / マネキン / ガイド / ガール / 結婚式場給仕 / 裏方 / やとわれダム) / お座敷女中 / ほか) / 「技術」 (洋裁師 / トラック定期便運転手 / タクシー運転手 / 時計修理工 / デザイナー / ほか) / 「会社」 (銀行員 / 外人商社員 / 災保険会社女子事務員 / 鋼材運送業務員 / 織物会社営業部員 / スクータ / セールスマン / ほか) / 「店員」 (デパート店員 / デパート美術部員 / 運送店員 / 美術品運送店員 / ほか) / 「ジャーナリズム」 (テレビ映画カメラマン / アナウンサー / 新聞社校閲記者 / 出版社編集部員 / ほか) / 「その他」 (船員 / 漁業組合職員 / 坑内夫 / サンドイッチマン / 沖仲士 / 駐留軍ガード / 映画館フィルム運び / ほか)

第5回配本 <性>の深淵

全5巻

第5回「<性>の深淵」では、同性愛、変態性欲、夫婦間の貞操問題といった著作を、性科学に焦点をあてて集めた。また、戦後風俗や売春についてのルポルタージュも収録。

●第21巻 ● <性>の深淵 I

付・解説

守田有秋 [著]

自由恋愛秘話

(平凡社 一九三〇年)

「I 性欲本能の発展」 1 児童とは何ぞ / 2 思春期 / 3 児童と其の生殖器官 / 4 初期の性的特徴 / ほか / 「II 性欲倫理」 1 罪悪視される自由恋愛の遂行 / 2 カントの性欲道徳 / 3 ショウベンハウアの「意志の哲学」と性欲 / ほか / 「III 男女の闘争」 1 男性中心の社会 / 2 無性生殖及び処女生殖 / 3 両性交精生殖 / 4 客位にある男性 / 5 動物の雌雄淘汰と雄性的発達 / ほか / 「IV 女性優越時代の恋愛と結婚」 1 性交無制限時代より血族結婚 / 2 血族群婚より半血族婚へ / 3 氏の制度発達 / 4 配偶婚より男性反抗へ / 5 男性反抗 / 6 ラ・クウヴァド / 「VI 父権制度の勃興」 1 母権制の没

落／2 女性優越の最後の光輝／3 婦人征服及び奴隷としての婦人
【Ⅵ 女性哀史】 1 掠奪婚及び売買婚／2 父権制度と妻子連／3 諸
国の多妻制度 【Ⅶ 売笑と自由恋愛】 1 売笑の起源と自由恋愛の
受難 2 吾が国の売笑／3 現在の不自然なる性欲生活 【Ⅷ 自由恋愛者の
迫害】 1 自由恋愛者に対する迫害及び其意義／2 自由恋愛者の
受難 1 近松の情死もの／2 西欧文学と自由恋愛 【Ⅸ 過去と未
来の一断面】 1 自由恋愛と過去／2 ユートピアにおける婦人／3
匈牙利革命と婦人優越／4 友愛結婚と自由恋愛／5 モダン・ガ
ール 【Ⅹ 自由恋愛と其の将来】 1 未来の社会における結婚生活及
露国の結婚法／2 婦人よ、原始に還れ！

第22巻 ● 〈性〉の深淵 Ⅱ 付・解説

守田有秋「著」 変態性欲秘話

(平凡社一九三〇年)

【第一 同性愛】 1 同性愛とは何ぞや (1 同性愛の名称／2 同性
愛の意義／3 同性愛名称の起源について) 4 日本における同性愛の名称
II 同性に対する場 (1 同性愛者の同性に対する態度／2 純真な同性
愛／3 初期の動揺的傾向／4 同性愛者の嫉妬と殺人) 5 男性化の種々
相 III 不朽的な同性愛者 (1 古代の同性愛／2 古典時代の同性愛者人
名表／3 近世の同性愛者人名表) IV 日本人の同性愛 V 日本文学
に現はれたる同性愛 (1 最も旧記述／2 徒然草 謡曲／3 徳川期の
著述／4 西鶴其蹟等の著述) VI 同性愛に対する各国の罰則 【第二
性欲狂】 1 サティスマスの種の相 (1 一般のサティスマスの傾向と
程度の強弱／2 獣人グロスマン／3 テュッセルドルフの怪人) II サ
テスマス対社会 (1 サティストの素質と環境／2 刑罰としてのサテ
スマス) 3 文学及び歴史に現はれたるサテスマス) III 他の性欲狂
(1 マゾヒズム) 2 麻物崇拜) 3 露出症) 4 異種性交) IV ナブ
シイの性的生活 (1 性欲的生活と衣服の関係) 2 性欲的魔法及び媚
薬) 3 フェティシズムと性欲生活 【結論】

第23巻 ● 〈性〉の深淵 Ⅲ 付・解説
式場隆三郎「著」

新しい愛情の設計

(昭和書房一九四七年)

序／女性と愛情 新しい愛情の設計／女の智慧とタイプと魅力につ
いて／近頃女性風俗／愛情と虐待／処女と性教育／女の無智と悲
劇／未亡人の生理／女性頹廢の心理／復讐者と処女／軍事裁判と女
性／新しき貞操観／小指を切る女／婦人と読書／生活と色彩 新
しき生活の建設／日本再建と民芸／陶器と生活／生活と色彩／医学
と宗教／愛されるゴッホ／愛書供養の記／日本の反省 日本人の
欠点／戦後の犯罪病理／背徳狂の流行／戦争指導者の発狂／最後の
焰／日本モナ・リザ失踪事件／スリの横行／人情水の如し／闇の教
室／書店にて／榴散楼叢話 環さんの食欲／五勺の生命線／ほか

大槻憲二「著」

愛欲の心理 (正常篇)

(正書林一九四八年)

【緒論】 恋愛欲と本能との関係 (一、本書の目的と範囲) 二、精神分
析本能とその発達) 三、恋愛欲の心理の推移 【第一章】 恋愛生活
の心理 第一節 自己恋愛の様相とその検査 (一、恋愛と知力喪失) 二、
身体的病気の病気) 第二節 対象恋愛の様相 (一、初恋の心理) 二、
初恋以前の初恋) 第三節 救助願望の心理とその根源 (一、母
コムプレクスと救助願望) 二、救助願望の種々相) 第四節 女性
の恋愛心理 (一、受胎の象徴的意義) 二、人形の象徴的意義) ほか
第五節 恋愛に於ける「好きな型」 (一、好きな型の便利と危険) 二、
心の情性と病的の良心) ほか 【第二章】 性欲生活の心理 第一節
性欲心理の根柢 (一、色食同根説) 二、幼児性感と多形変態) ほか 第
二節 思春期以前の性感 (一、幼児性感の美例) 二、一、幼児性
感の美例) 二、二、ほか) 第三節 幼児性感論の生物学的吟味 (一、
マクス・レヒ、スール氏の研究) 二、種族発達の史的に見て) ほか) 第
四節 男女青年の性心理 (一、微妙な処女心理) 二、処女の肉体的性機
構) ほか) 第五節 食欲と性欲との関係 (一、食欲と攻撃欲) 二、
喰物偏好の心理的意味) 三、喰心とは愛すること) ほか)

第24巻 ● 〈性〉の深淵 Ⅳ 付・解説
霜鳥喜逸「著」

不完全なる結婚

—— 生理生活の破綻とその克服

(婦人文化叢書) コスモス文化社一九四九年)

【第一章】 性欲の外面的あらわれ方の変態——変態性欲とその医学的療
法について—— 同性愛について) ゆがめられた女性間の同性愛) ソ
ドミー) 宿命の身体をもつ半陰陽) 罪すべき姦淫症) ナルチスム
ス) 孤獨なる者の夢想と夢魔) ほか 【第二章】 性欲の内面的あら
われ方の変態——オナニーに関する幾つかの事からとその矯正につ
いて—— 異常オナニーと変態オナニー) オナニー経験者を統計的にみ
る) オナニーはそれほど悪影響ありや) ほか 【第三章】 女性生殖
器とその異常——陰唇とその周辺) クリトリス) 解ぼう) 畸形) 知
覚) 腫) 構造) 狹窄性) 知覚) 弛緩性の正常と異常) 畸形) 子宮と
それに接続する内生殖器 【第四章】 男性生殖器とその異常) ペニ
ス) 解ぼう) 知覚) 畸形) 機能障害) 器質の変性) 睾丸と陰囊) 精
虫と射精現象) ほか 【第五章】 せつばんと伝染病 【第六章】 悲しき初
んは愛の表現ではあるが) せつばんと伝染病 【第七章】 悲しき初
夜) 恐怖) ヒーメンの抵抗) 生涯を不幸にする完全鎖陰 【第七章】
幸福感なき生理生活) 保留なき性交) 中断性交によつて失われる利
益) 避くべき連続性交と過淫の害) ほか 【第八章】 おぎない) 無
配慮な寢室) 夫婦は性病に敗れたり) 夫は性病に敗れたり) 妻も性
病に敗れたり) 不断の相互感染) ペニシリン療法) 適用) ほか

永井 潜「著」

第二結婚読本 —— 独身者のために

(春秋社一九五〇年)

【第一篇】 禁欲) 紛糾せる禁欲問題) 禁欲の定義) 誤り伝えられたる
禁欲症状) 結婚生活と禁欲有害説) 一時的禁欲の真正の症状) 一時
性禁欲の励行) 禁欲と買淫) 禁欲問題の結語 【第一篇】 自慰 (手
淫) 自流行) 自慰とは何ぞ) 自慰の歴史) 自慰の種類) 自慰の
害悪) 自慰の分布) 自慰の原因) 自慰の診断) 自慰の予防) (一)
家庭及び学校に於ける性教育の普及徹底) (二) 正しい飲食物
(三) 正しい服装) (四) 正しい勤労と身体訓練) (五) 冷水浴
の励行) (六) 意志の鍛錬) (七) 性に関する正しい啓蒙) 自慰の
療法) 自慰療法としての結婚) 不正の性交による

第25巻 ● 〈性〉の深淵 V 付・解説
清閑寺健「著」

転落の処女 —— 夜の女の告白

(民生本社一九四七年)

ズベ公の巢) 地下道奇譚) 処女進上) ナイト・クラブ) 留置場
後藤フミ) ほか 【著】

私は堪えられない

—— 脱出売春婦6人の手記

(クリーン新書) 鱒書房一九五五年)

序) 余りにひどい実相 (神近市子) 私はもう堪えられない (後藤フ
ミ) ほか) に生きる道がなかった (加瀬三千代) 私のからだは病園
の巢 (沢村房子) 一年半の貞操代) 六千五百円 (寺田八重子) 気が
狂った春子のこと (岡本すみ子) 泥沼から引き上げてくれた人 (山
下トモ子)

原田重久「著」

欲情部落 —— ある女町長の日記から

(朋文社一九五七年)

はじめに) その一夜這いの順番のこと) その二 強いのがよい女房
おけいのこと) その三 女房あらためて惚れなおすこと) その四 映
画俳優志望の神主の息子のこと) その五 本妻とお妾さん同居のこ
と) その六 女を賭ける鬮鶏のこと) その七 筆下し) という町の
青年の風習のこと) その八 文化財指定御神体公開のこと) その九
すり替えられた男根神体のこと) その一〇 女町長甘栗もよ恋愛
のこと) その一一 花嫁には最敬礼すべきこと) ……

戦前・戦中・戦後の ジェンダーとセクシュアリティ 全25巻

[監修・解説] 岩見照代 前・麗澤大学教授 ●揃定価：本体490,000円＋税 ISBN978-4-8433-6099-6 C3336 A5上製／カバー

第1回配本 変容する〈性〉 全5巻

既刊・2021年10月刊

●揃定価：本体98,000円＋税

ISBN978-4-8433-6100-9 C3336

■第1巻 ■変容する〈性〉 I 付・解説

定価：本体20,000円＋税 ISBN978-4-8433-6101-6 C3336

■第2巻 ■変容する〈性〉 II 付・解説

定価：本体24,000円＋税 ISBN978-4-8433-6102-3 C3336

■第3巻 ■変容する〈性〉 III 付・解説

定価：本体17,000円＋税 ISBN978-4-8433-6103-0 C3336

■第4巻 ■変容する〈性〉 IV 付・解説

定価：本体19,000円＋税 ISBN978-4-8433-6104-7 C3336

■第5巻 ■変容する〈性〉 V 付・解説

定価：本体18,000円＋税 ISBN978-4-8433-6105-4 C3336

第2回配本 翻弄される〈性差〉 全5巻

既刊・2022年3月刊

●揃定価：本体98,000円＋税

ISBN978-4-8433-6106-1 C3336

■第6巻 ■翻弄される〈性差〉 I 付・解説

定価：本体23,000円＋税 ISBN978-4-8433-6107-8 C3336

■第7巻 ■翻弄される〈性差〉 II 付・解説

定価：本体20,000円＋税 ISBN978-4-8433-6108-5 C3336

■第8巻 ■翻弄される〈性差〉 III 付・解説

定価：本体17,000円＋税 ISBN978-4-8433-6109-2 C3336

■第9巻 ■翻弄される〈性差〉 IV 付・解説

定価：本体19,000円＋税 ISBN978-4-8433-6110-8 C3336

■第10巻 ■翻弄される〈性差〉 V 付・解説

定価：本体19,000円＋税 ISBN978-4-8433-6111-5 C3336

第3回配本 男と女 全5巻

既刊・2022年11月刊

●揃定価：本体98,000円＋税

ISBN978-4-8433-6112-2 C3336

■第11巻 ■男と女 I 付・解説

定価：本体24,000円＋税 ISBN978-4-8433-6113-9 C3336

■第12巻 ■男と女 II 付・解説

定価：本体25,000円＋税 ISBN978-4-8433-6114-6 C3336

■第13巻 ■男と女 III 付・解説

定価：本体17,000円＋税 ISBN978-4-8433-6115-3 C3336

■第14巻 ■男と女 IV 付・解説

定価：本体16,000円＋税 ISBN978-4-8433-6116-0 C3336

■第15巻 ■男と女 V 付・解説

定価：本体16,000円＋税 ISBN978-4-8433-6117-7 C3336

第4回配本 女性の躍動 全5巻

既刊・2023年2月刊

●揃定価：本体98,000円＋税

ISBN978-4-8433-6118-4 C3336

■第16巻 ■女性の躍動 I 付・解説

定価：本体24,000円＋税 ISBN978-4-8433-6119-1 C3336

■第17巻 ■女性の躍動 II 付・解説

定価：本体21,000円＋税 ISBN978-4-8433-6120-7 C3336

■第18巻 ■女性の躍動 III 付・解説

定価：本体21,000円＋税 ISBN978-4-8433-6121-4 C3336

■第19巻 ■女性の躍動 IV 付・解説

定価：本体16,000円＋税 ISBN978-4-8433-6122-1 C3336

■第20巻 ■女性の躍動 V 付・解説

定価：本体16,000円＋税 ISBN978-4-8433-6123-8 C3336

第5回配本 〈性〉の深淵 全5巻

2023年9月刊行予定

●揃定価：本体98,000円＋税

ISBN978-4-8433-6124-5 C3336

■第21巻 ■〈性〉の深淵 I 付・解説

定価：本体18,000円＋税 ISBN978-4-8433-6125-2 C3336

■第22巻 ■〈性〉の深淵 II 付・解説

定価：本体19,000円＋税 ISBN978-4-8433-6126-9 C3336

■第23巻 ■〈性〉の深淵 III 付・解説

定価：本体20,000円＋税 ISBN978-4-8433-6127-6 C3336

■第24巻 ■〈性〉の深淵 IV 付・解説

定価：本体17,000円＋税 ISBN978-4-8433-6128-3 C3336

■第25巻 ■〈性〉の深淵 V 付・解説

定価：本体24,000円＋税 ISBN978-4-8433-6129-0 C3336

ゆまに書房 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-7-6 TEL.03(5296)0491 FAX.03(5296)0493 <http://www.yumani.co.jp/>



ご注文書	ゆまに書房 Tel.03(5296)0491/Fax.03(5296)0493 年 月 日	
	戦前・戦中・戦後の ジェンダーとセクシュアリティ 全25巻 □第1回・全5巻 □第2回・全5巻 □第3回・全5巻 □第4回・全5巻 □第5回・全5巻	
	セット	
お名前		
ご住所	TEL ()	

取扱店

※毎度ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。